



平成 27 年 8 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社大紀アルミニウム工業所  
代 表 者 名 代表取締役社長 山 本 隆 章  
(コード番号：5702 東証第一部)  
問 合 せ 先 常務取締役 小 川 泰 司  
(TEL 06-6444-2751)

### 東京アルミセンター株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 8 月 25 日開催の取締役会において、以下のとおり、東京アルミセンター株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 株式の取得の理由

当社は、さらなる収益拡大のために、事業分野の拡大を目指してまいりました。この度、原料仕入で取引があります東京アルミセンター株式会社を子会社化することで、当社のアルミリサイクリングの川上事業を強化し、事業の一層の拡大に寄与できると判断し、本件株式取得を決定いたしました。

#### 2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	東京アルミセンター株式会社	
(2) 所 在 地	東京都江戸川区松江 7-6-23	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 早川 認	
(4) 事 業 内 容	アルミニウム屑の販売	
(5) 資 本 金	10 百万円 (発行済み株式総数： 20,000 株)	
(6) 設 立 年 月 日	1959 年 2 月 5 日	
(7) 株 主 構 成	個人株主 (注)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、アルミスクラップ (原料) の仕入取引が年間 (2015/3 期) 1,699 百万円ありますが、その他記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成24年9月期	平成25年9月期	平成26年9月期
純 資 産	230 百万円	233 百万円	251 百万円
総 資 産	1,709 百万円	1,731 百万円	1,919 百万円
1 株 当 たり 純 資 産	11,506.20 円	11,687.40 円	12,564.20 円
売 上 高	3,277 百万円	4,344 百万円	5,755 百万円
営 業 利 益	△21 百万円	17 百万円	35 百万円
経 常 利 益	△40 百万円	3 百万円	19 百万円
当 期 純 利 益	△39 百万円	3 百万円	17 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△1,997.50 円	181.15 円	876.85 円
1 株 当 たり 配 当 金	－円	－円	－円

(注) 個人株主と守秘義務契約を締結しているため、公表は控えさせていただきます。

### 3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	個人株主と守秘義務契約を締結しているため、公表は控えさせていただきます。
(2) 住 所	個人株主と守秘義務契約を締結しているため、公表は控えさせていただきます。
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0.00%)
(2) 取 得 株 式 数	20,000 株 (議決権の数：20,000 個)
(3) 取 得 価 額	取得価額につきましては、個人株主と守秘義務契約を締結しているため、公表は控えさせていただきます。
(4) 異動後の所有株式数	20,000 株 (議決権の数：20,000 個) (議決権所有割合：100.00%)

### 5. 日 程

(1) 取 締 役 会 決 議 日	平成27年8月25日
(2) 契 約 締 結 日	平成27年8月25日
(3) 株 式 譲 渡 実 行 日	平成27年9月30日(予定)

### 6. 今後の見通し

本件株式取得による業績への影響については、取得手続き完了後に影響額等の精査を行ったうえで、開示の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

### 7. その他

本件取得は、独占禁止法第10条第2項に基づく届出にかかる公正取引委員会審査の結果において、排除措置命令の発令等、株式取得の実行を妨げる要因が存在しないことが前提となります。

以 上